

乗鞍岳、登ろうとしました

(報告) T. K

◎山行期日 2018年3月17～18日

◎メンバー 会員4名

乗鞍岳を登ろうとしました、本気で。しかし残念なことに途中でリタイヤを余儀なくされてしまいました。ここんところリタイヤ癖がついているようです。

リーダーのFさんが車を運転してくれて、八王子を7時20分に出発しました。私は助手席、Nさん曰く、私が一番居眠りしそうにないから運転席の横だとか、ところが車中は丁度よい加減の温度、ついついとうとうとしてしまい、リーダーにはご迷惑をおかけしました。後部座席にも一服した人がいたかも・・・。

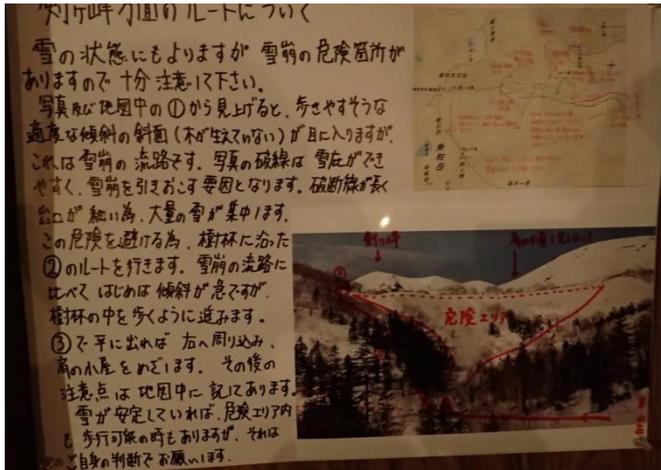
11時前には乗鞍高原温泉駐車場に到着、車中で昼食を済ませ、11時半には出発。我々の駐車場は第1リフトの中間地点にあり、切符売り場の人の言うには、2～3分下れば第1リフトの乗り場、10分程登れば第2リフトの乗り場、登った方がリフト代400円が稼げる、との事。「下りよう」、と私は言ったのだが皆さんの同意は得られず私の提案は3：1で敢え無く却下。第2リフト乗り場まで登る嵌めになった。皆さん元気ですねえ、全く。



< 駐車場から見上げる乗鞍岳 >

第2、第3リフトを乗り継いで1960m地点に到着、早速スノーシューを履いて歩き始める。所々一寸した急登があるものの歩けない程でもない。暖かい。ヤッケも着けず街中と大して変わらぬ恰好でも全然寒くない。暑いぐらいだ。リフトを降りて約2時間、標高差450mを登って、肩の小屋方面と位ヶ原山荘方面との分岐点に到着する。ここからは、位ヶ原山荘に向けて赤い布に導かれて歩く。分岐点を少し過ぎたところで右足の脹脛が攣った。攣る寸前、ピリピリときて、あっ攣る攣る、と思わず力を抜いたが間に合わず、わが友「ツムラ68」のお世話になってしまった。皆さんにも助けて貰って3時15分に位ヶ原山荘に到着した。

小屋は暖かく、管理人も親切、靴を脱ぐのに手間取っているとスリッパを持ってきてくれるし、スノーシューもきちっと並べて立てかけてくれた。小屋では、時間がたっぷりあったので、一杯やりながら、Nさんの指導で腰痛体操を行った。



小屋には雪崩の危険箇所を示す掲示がありました。

「雪の状態にもよりますが雪崩の危険箇所がありますので十分注意して下さい。写真及び地図中の①から見上げると、歩きやすそうな適度な傾斜の斜面（木が生えていない）が目に入りますがこれは雪崩の流路です。写真の破線は雪庇ができやすく、雪崩を引き起こす要因となります……。」

←<Nさん撮影>

明日は、この注意書きに沿って安全な箇所を歩くことになった。

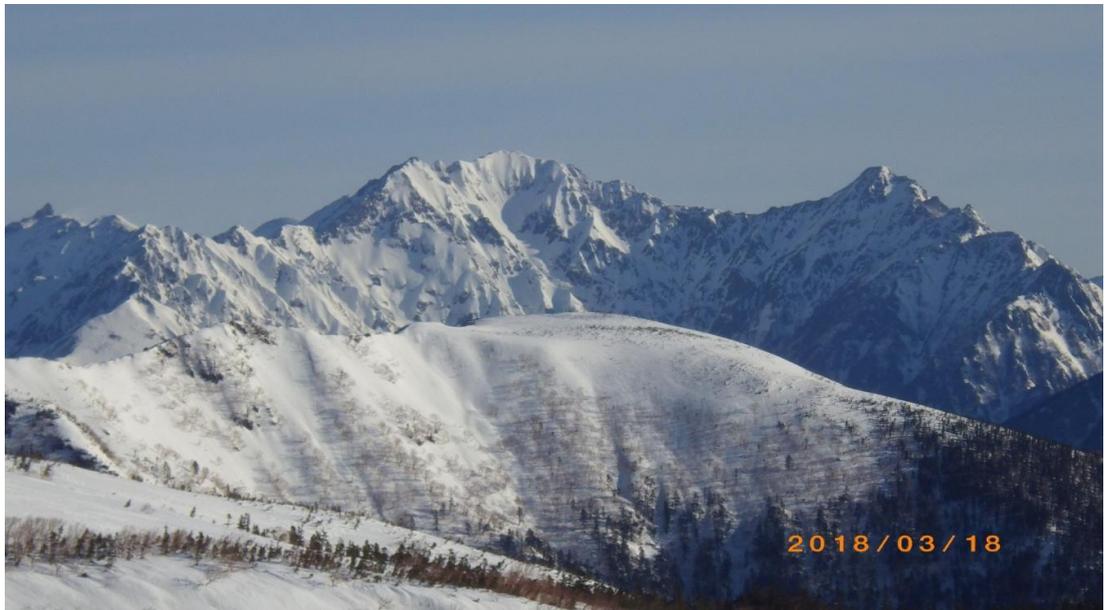
夕食は鹿肉の鍋だった。鹿肉はアクが強いのでアクを掬いながら食べるように、との小屋の主人の言葉に従い美味をいただく。食が進み饅頭が入る頃には食べるのもシンドイぐらいとなった。

<第2日>

朝起きると、峰の木々の揺れが大きい、相当な風だ、覚悟して行こう。

6時40分、アイゼンをつけて、スノーシューを背負って、いざ出発。風はいつの間にか気にならない位に穏やかになっていた。

穂高の峰々が美しい。左端に槍ヶ岳が見える。中央は奥穂高岳、吊尾根を経て右は前穂高岳。



<Aさん撮影>

右手方向からの朝陽を浴びて雪面が輝く。幾ら見続けても飽きない。



この雪原を登るんだ。目を凝らしてよ〜く見ると、写真中央に一寸窪んだ所が見える。そこの右側を歩くらしい。更に良く見ると、黒い点が見える。ひょっとして小屋かな。

<三つのピークは、剣ヶ峰、蚕玉岳、朝日岳>

風がだんだん強くなってきた。手が冷たくなる。8時10分、肩の小屋口到着、帰りもここを通

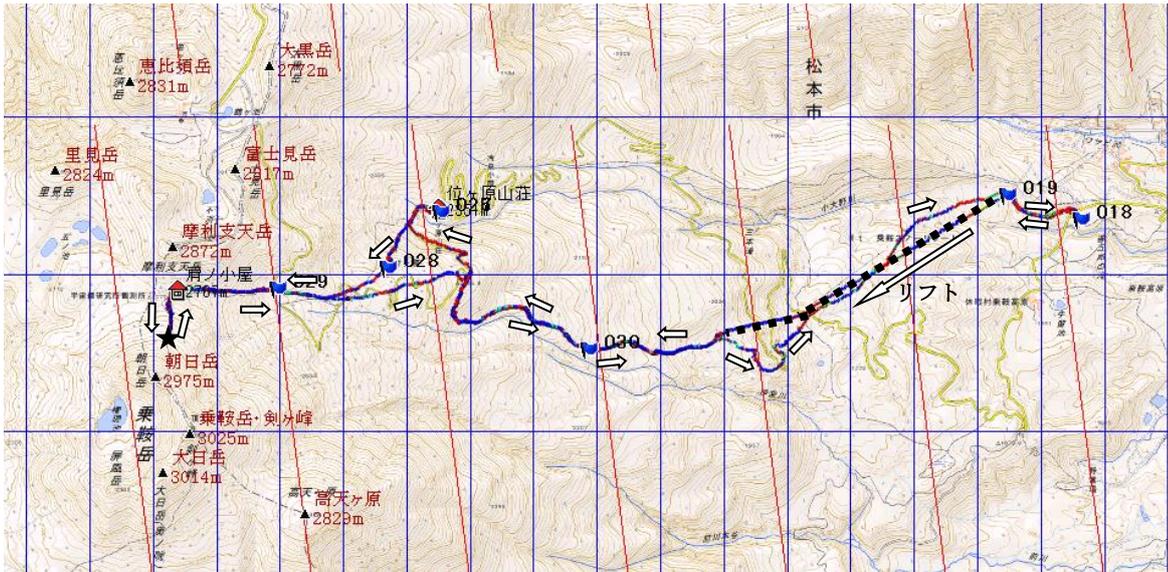
るので、スノーシューをデポする。2kgほど軽くなった。

肩の小屋口から肩の小屋まで約150mを一気に登る。風がどんどん強くなってきた。「眼だし帽着用」とリーダーの声、エネルギー補給のため齧っていたアンパンをもぐもぐさせながら眼だし帽をつける。眼だし帽をつけの水分補給に苦勞する。

肩の小屋を出て100mも登らないところで急に息苦しくなってきた。こんなはずではない、まだまだ行ける、と自分を励ましながら、息を切らしながら、風に抵抗して、腰をかがめて歩くもスタミナ切れは覆うべくもなく遂にリタイア。腰痛悪化で肩の小屋で1人リタイアしているので、これでリタイア組は2人、「ここで無理してもここから先、風は更に強くなり歩けなくなるからここで下山しよう」とリーダーが風の所為にしてくれたが、私の所為でまだまだ元気な2人をも巻き添えにして下山する事になってしまった。

肩の小屋口まで戻りデポしてあったスノーシューをつけて下山。登りコースとは少しずれて雪原を突っ切る。下りは楽ですね、さっきまであんなにシンドかったのに嘘のようです。肩の小屋方面と位ヶ原山荘方面との分岐点に着いたのが11時20分ごろ、ここからは昨日のコースを逆にリフト終着点まで快調に歩く。下りはリフトに乗れない。何故乗せぬ、商売気がない、載せればそれだけ売り上げが上がるのに、・・・等々管理会社やり方に悪態をつきつつ下山する。時折上から、スキーヤー・スノーボーダーが下りて来るが、昔に比べたら吃驚するほど少ない。

1時半、駐車場に戻る。頂上に立つことはできなかったが、スノーシュー歩きは思いっきり堪能した。



<行程図GPS>

《記録》

1日目：八王子出発 07：20－駐車場(1480m) 11:30－リフト乗り場(1605m) 11:50－登山開始(1960m) 12:25－分岐点(2433m) 14:30－位ヶ原山荘(2312m) 着 15:10

2日目：位ヶ原山荘(2312m) 06:40－肩の小屋口(2610m) 8:10－肩ノ小屋(2767m) ー引き返し地点(2834m) 09:35－肩ノ小屋(2767m) 09:50－分岐点(2433m) 11:20－駐車場(1480m) 着 13:30